

地域力向上事業（看板事業）

第2回ジュニアジオガイド講座～火山の恵みと人々の暮らしとの関係を探ろう！～

[主催] 国立阿蘇青少年交流の家

[共催] 環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所 阿蘇火山博物館 阿蘇ジオパーク推進協議会

[後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会

[期日] 令和2年10月31日（土）～11月1日（日） 【1泊2日】

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家及び阿蘇ジオパーク

[参加者] 小学5年～6年生 20名

[講師] 豊村 克則 氏（阿蘇火山博物館 学芸員）
宮本 利邦 氏（阿蘇市教育委員会 学芸員）
広瀬 顕美 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
和田 眞幸 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
家入 惣子 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
高嶋 信雄 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
山本 俊夫 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）

[協力団体] 株式会社日本リモナイト 阿蘇ホテル2番館 わいた温泉郷組合 白地商店

[担当職員] 尾家 義隆（企画指導専門職） 有木園和志（企画指導専門職）
佐藤 倫子（企画指導専門職） 前田 夢依（事業推進係員）
志賀 泰成（事業支援室主任） 堀澤亮太郎（事業支援室係員）

1 趣旨

阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と課題解決能力、自ら学ぶ意欲を育成する。さらに、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力を育成する。また、ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞く場を設定することで、自らの将来について考える機会を作る。

2 目標

- 本事業を通して、児童一人一人が阿蘇ジオパークの実際に触れ、阿蘇ジオパークのよさや素晴らしさに気づき、自然に対する畏敬の念を持つとともに、郷土を愛する心を育てる。
- 観察・実験及び調査活動等の自然体験学習を通して、科学的に探究する力や技能を学ぶとともに、目的を同じにした仲間と協力して課題を解決する力を育む。
- 体験から感じ取ったことや学んだことをまとめ、それを発信することでジュニアジオガイドとしての幅広い知識と表現力を育む。
- ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞き、自らの将来について考える機会を作る。

3 事業展開

研修プログラム

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
10月31日 (土)				受付	オリエンテーション 昼食	移動	【活動1】 阿蘇黄土 ジオサイト探検 (日本リモナイト)	移動	【活動2】 内牧温泉ジオサイト探検 (内牧温泉) 火山の神ジオサイト探検 (中通古墳群・国造神社)	移動	夕食	移動	【活動3】 火山に関する仕事をして いる方の講話 ・ 1日目のまとめ	就寝準備		就寝

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
11月1日 (日)	身 支 度	朝 食	部 屋 点 検	出 発 準 備	移 動	【活動5】 小国郷温泉ジオサイト探検 (わいた温泉郷) ※昼食含む	【活動6】 池山・山吹 ジオサイト探検 (池山水源)	2 日 間 の ま と め	修 了 証 授 与							



阿蘇黄土ジオサイト探検



内牧温泉探検



中通古墳群探検



国造神社探検



わいた温泉郷探検



池山水源探検

4 成果と課題

(1) 成果

- ・「べんがらづくり」や「足湯体験」、「蒸し料理の実食」、「水の飲み比べ」等、体験重視の活動を多く取り入れたことにより、五感を通じて学ぶプログラムができた。※参加者全員が「楽しく活動ができた」と回答。
- ・講師を招聘したり、地元の方の話を聞いたりしたことで、より専門性の高い話や火山の恵みと暮らしの実際を聞くことができた。

(2) 課題

- ・1日目の夜の講話で、参加者はガイド体験へ向けてのヒントをもらった。これまでの活動で得た知識や経験をガイド原稿にアウトプットする手立てが必要である。
- ・1日目の活動が一部窮屈になった。オリエンテーション後に出発し、最初のジオサイトで昼食を摂る等の工夫が必要である。例) 国造神社で昼食。その後、探検。